

2022 J3 順位表 第22節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）
注：*印は消化試合が数字分少ない

1	いわき	48p	+34	49	15	H●
2	鹿児島	44p	+17	38	21	HO
3	松本	44p	+12	30	18	H●
4	今治	41p	+11	32	21	H● A●
5	富山	39p	+4	30	26	AO
6	長野	39p	+4	26	22	A△
2*7	藤枝	38p	+14	36	22	A●
8	愛媛	38p	+9	34	25	HO A△
9	福島	31p	+2	26	24	AO
1*10	岐阜	28p	-2	30	32	---
1*11	沼津	24p	-6	21	27	A●
12	宮崎	23p	-7	21	28	AO
13	北九州	23p	-8	20	28	A●
14	鳥取	21p	-12	29	41	HO A●
15	相模原	19p	-11	20	31	HO
16	八戸	19p	-19	16	35	H△
17	讃岐	18p	-12	16	28	A● HO
18	YS横浜	14p	-30	16	46	A△

次回HomeGame

第24節 vs.長野パルセイロ
9/10(土) 19:00
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

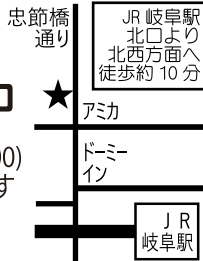
「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

今日もここから
串かつで一杯

煮込み
串かつ **珍道中**

14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)
※売り切れ次第、終了です
<定休日:日曜・祝日>
TEL. 058-252-1580



today's guest : **Y.S.C.C.横浜**

2021 J3 11勝7分10敗 勝ち点40: 8位

直近の対決と結果

2022/03/12
J3 - 1節@ニッパツ
YS横浜 0-0 岐阜

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	Y.S.C.C.横浜
2022/08/27 J3 - 22節@ニスタ 愛媛 1-1 岐阜	2022/08/28 J3 - 22節@ユニスタ 宮崎 1-0 YS横浜
2022/08/14 J3 - 20節@夢スタ 今治 1-0 岐阜	2022/08/21 J3 - 21節@ニッパツ YS横浜 4-2 沼津
2022/07/30 J3 - 19節@Axis 鳥取 4-0 岐阜	2022/08/14 J3 - 20節@ニッパツ YS横浜 1-0 北九州

●シーズン折り返し前に3連敗し、折り返し後も1勝2敗と、ここに来て急ブレーキがかかってしまったFC岐阜。8/20(土)第21節・ホーム藤枝戦は、上位相手ではあるが、もう負けられない一戦。しかし、前半11分に失点。その後も苦しい展開が続いたが、雷雨のため前半21分で試合が中断、そのまま中止となった。続く8/27(土)第22節・アウェイ愛媛戦では、またしても前半早々に失点。前半34分に#8窪田稜の同点ゴールで追いついた岐阜だったが、その後は決定機でゴールを奪えない。一方の愛媛も決定機を逃し、両チームとも決勝点を奪うことが出来ず、1-1で引き分け。勝点1を分け合う結果となってしまった。

FC岐阜の順位は暫定10位に後退。もちろん消化試合が1試合少ないとはいえ、その試合は(2試合少なくても)現在は7位の藤枝に、1点先制されているということをお忘れにならない。首位・いわきとの勝点差は20、2位・鹿児島との勝点差は16。鹿児島は22試合で勝点44だから、シーズン終了時の予想勝点は(44÷22)×34=68。岐阜の残り試合は13試合だから、残りを全勝したとして、28+(13×3)=67。9位・福島とは勝点差が3だから、十分に追い越すことは可能だが、8位・愛媛との勝点差は10。非常に残念な事だが、今季のJ3優勝争い・J2昇格(復帰)争いは、愛媛までの上位8チームに絞られてきていると言わざるを得ない。だけど、もしも僕らのチームが目標達成を諦めて、戦う姿勢を見せないのであれば、それはプロスポーツとは呼べないし、Jリーグの理念にも反するだろう。目の前の試合を全力で、少なくともホームの試合では、勝利を目指して最後まで全力を尽くして戦い抜き、そして勝利を掴み取るチームであるべきだ。そうした姿勢を、僕らサポーターの前でしっかりと示して欲しい。さて、今節の対戦相手は、Y.S.C.C.横浜だ。2014年のJ3創設時から長らく下位に低迷していたが、昨季は初の8位に。しかし、チームを3年間率いたシュタルフ監督(現・長野)がチームを離れて多くの主力選手が流出。今季は、昨季まで岐阜でコーチを務めていた仲田建二氏を監督に招き、再び一からチーム作りをすることになった。開幕戦は岐阜を相手に0-0で引き分け、好調な滑り出しかと思われたものの、その後7連敗。仲田監督は5/25に辞任し、直前まで開催されていたWEリーグで初代王者となったINAC神戸を率いた星川敬氏が監督に就任。その後も勝てない試合が続き、現在も最下位のままだ。ただし、直近5試合では2勝3敗と、徐々に復調の兆しを見せている状況でもある。そして、YS横浜との対戦成績は、2勝2分1敗・7得点5失点。先述したように、今季開幕戦3/12(土)アウェイ戦は0-0、そして昨季のホーム戦5/30(日)は、PKで先制したが追いつかれ、そして後半ATに逆転ゴールを決められ、1-2で敗戦している。直近5試合で1勝1分3敗の我々が油断できる相手であるはずもないし、今節こそ全力で倒さなければならない相手だ。

YS横浜の要注意選手には、まずは#13河辺駿太郎を挙げる。現在3得点だが、それは直近6試合での得点で、今は好調な選手と見て良いだろう。また、この夏から加入してスタメンに定着している#46古賀俊太郎も要注意だ。一方の岐阜側の選手では、やはり昨季はYS横浜に在籍していた#45ンドカ・チャールズの活躍に注目したい。このホーム・長良川で見事な“恩返し弾”を決める姿を僕らに見せて欲しい。

そして今もなお、新型コロナ感染“第7波”の影響がJリーグの各チームに広がっている。開催が中止される試合も増え、また、FC岐阜の選手たちにも陽性判定が出ている。そのような中だけでも、今節の試合も“声出し応援適用試合”となる。前回実施された藤枝戦と同様に、かなり厳しい条件での実施になるが、僕らFC岐阜サポーターは、声出しをする者もしない者も、ガイドラインを忠実に守った上で、応援を繰り広げよう。(ささたく)

投稿募集!! gidaidohri@gmail.com

【第22節】愛媛 1-1 岐阜

●シーズン序盤には3連敗して（うちも勝たせてもらって）、一時は最下位になってた愛媛さんですが、いつの間にやら順位をしっかりと上げて7位に。十分にJ2復帰が狙える位置につけてます。さすがJ2降格組というべきか、そういえば、そんなシーズンが僕らにもありましたね…（溜息）。さて、スタメンは……おや、久しぶりの4バック？メンバーも替えて、これは守備の修正がされるかな……と、僕は淡い期待を抱いたんですが、それも藤枝戦と同様、前半10分で砕かれてしまいましたよ…（深い溜息）。

えーと、なんですかね、あの失点シーンは？（激怒）自陣のPA内で高く上がったボールに対して、誰も声を出して指示したり、身体を張って相手にボールを触らせないようにブロックしてるように見えないんですけど？該当選手たちは猛省してください。んで、その直前に#9山内寛史が負傷し、交替…うげげ、守備陣の負傷者が多すぎやしませんか、大丈夫ですかうちのチーム？

ただ、予想外の交替だったとはいえ、ここで#8窪田稜を投入したことは、その後の試合展開に大きく影響したと思う。右サイドに#8窪田、左サイドに#7村田透馬。2人のスピードある選手が仕掛けることで、サイドでの優位性は生まれていたと思う。ただ、それを中央で仕留める選手がいない……（溜息）。走るスピードだけを求めているつもりは僕も無いけれど、どうにも“遅い（重い？）”選手が、（少なくともこの愛媛戦では）岐阜には多いように見えてしまっただけ、ボールの繋がり方も、何だかぎこちなく見えるんですよねえ……。何かが足りないとは思っただけ、こればかりは、チームで何とか対策してほしいと思います。

まあ、前半34分の#8窪田きゅんの同点ゴールは、うちと同様、愛媛さんがやらかしてくれたようにも見えましたが（苦笑）。だけど、ゴールを決めた後に『13』を掲げて見せてくれた#8窪田選手には、感謝しかありません。あの悲しい事件を決して風化させないために、今後ともクラブはしっかりと伝え続けてください。だから、ホントは勝ちたかった。だけど、昨季みたいな無様な負け方をしなかっただけ、マシだったと言えるかもしれない。悔しいけれど、後半はお互いにオープンな攻撃が続いて、あと少しどちらかのプレー精度が高ければ、そちらのチームが勝ったと思うけれど、勝てなかったという事実が、今の僕らの立ち位置を示しているとも思ってしまう。本当に悔しいけれど。

ところで、ちょっと前から気になってるんですが。うちの選手たち、走行距離とかのデータ管理のために腰にセンサー巻いてると思うんですが、よく外れてませんか？余所のチームだと、背中（ベスト？）に付けてることが多いような……装着方法を見直した方が良くないんじゃないかと、思ったりしています、はい。（ささたく）

●3年ぶりのアウェイ・砥部はドロー。内容的にも極めて、妥当な引き分けと言えましょう。取られ方はショボかったね。春先から何回か見たやられ方。人数はいるのにカバーし切れないのがなんともはや。でも、うちの得点も似たようなもんだったし。アチラのサポさんにも似たような感想があったんじゃないかな？後半のポストを叩いたロングが決まったらヤバかった。ま、アレは匠のヘッドがナシにされたことでキャラにしますか。そういった意味では『砥部の呪い』は発動しなくなったのかな。毎回、気持ちの悪い負け方や内容になってたスタジアムだったから。苦手なスタジアムは減らしていかなないとね。

それにしても、予定外の交替だったとはいえ（寛史の無事を祈ります）、左右にイキのいいサイドアタッカーがいて、彼らが躍動するサッカーってイイね。やっぱり、サイドにはサイド適性のある選手を優先的に置いた方がいいんじゃないかな？サイドアタックをするんならさ。選手編成的にポジション適性偏り過ぎだったような気がします。コロナ禍もあった

し、ターンオーバーも必要だったとはいえ、最後の最後までレギュラーも戦術も固まらず仕舞い。「誰が出てても変わらない。同じレベルで戦える。」ってのは素晴らしいんだけど、売り物になったとは思えないのが残念だ。

それでも、この試合は見ていてそれなりに面白かった。アウェイならアレで十分。ただ、長良川では最低限、あれくらいやってもらって結果を出してもらわないとね。楽しみにしています。あ、クボタン、『13』ポーズ、ありがとう！（ぐん、）

『名鉄FC岐阜』 駅セレモニーを覗いてきました

●FC岐阜がスポンサーの名鉄協商（および名古屋鉄道）と組んで、8/18～24の7日間、『名鉄岐阜』駅の駅名案内板を『名鉄FC岐阜』駅にする、というコラボレーションを打ちました。この「特別装飾」（駅名が変わったわけではなく、『名鉄岐阜』の駅名表記板に『名鉄FC岐阜』という装飾を施した、というわけです）は珍しいものではなく、去年は名古屋鉄道犬山線の『江南』駅が「名探偵コナン」と組んで『コナン』駅装飾になっていますし、4年前には京浜急行が「北斗の拳」と組んで京急蒲田駅を『京急あまたたた一』駅装飾にしています……攻めてますね（笑）。

『岐大通』はクラブ発のイベントには触れないのが基本方針でしたが、今回は『穴埋め』もあって（というか、それがメインですが）、セレモニーでの小松社長の挨拶について、感想を記してみます。録音をしてたわけではないのでぼく（吉田铸造）の記憶に依るものですし、ここに記すのはあくまでぼくの感想ですので、よろしくお祈りします。

社長の挨拶は、まずセレモニー時点の9位という順位についての報告から。謝罪というニュアンスの発言はありませんでしたが、「我々は最後の試合の終了の笛が鳴るまで戦います」と。あれ？今季はJ2『復帰』が第1ミッションなんじゃなかったっけ？まだ可能性はあるからってこと？だったら「J2『復帰』の可能性を信じて」の一言はあってもいいような……と思ったけど、ここはセレモニーの場であってサポに説明する場ではないですからね。

続いて「私（社長）は就任時に『フィロソフィー』ということを行いました……」。おおっ！ついに社長から「『フィロソフィー』とは何か」の説明がある！と思いましたよ。そしたら「街づくりと連携したクラブ作り」（だったかな？）とかが出てきて、そうか、社長が言ってた『フィロソフィー』とはチームではなくクラブ、会社組織の運営のことだったのか！いやあおじさん1本取られちゃったぜ（おでこペシッ）……ではなく、名古屋鉄道の方針（たしかいまの名鉄の社長は不動産畑のひとだったはず）に合わせた発言でしょうね。こういったところの気遣いというか合わせ方は、サッカー畑ではなく会社畑の社長さんならでは、かな。

最後に気になったのが、「さらなる『地域密着』を進めるべく議論をしています」という発言。これ、サラッと云ってるけどかなりの示唆を含んでいて。FC岐阜って、地域貢献活動は結構しっかりやってるよね？だから『地域密着』は十分及第点だと思うんだけど、そこで「さらなる」？……となると、「ああ、『そこ』かあ。やっぱり『そこ』だよなえ」と溜め息混じりにならざるを得ません。さすがにサポ発のフリーペーパーでも、ぼくが感じた『そこ』が何なのかを書き記すことは出来ません。察してください。来季のFC岐阜を見れば「铸造が『そこ』と言ってたのは、ここだったんだな」とわかる、かもしれませんが。もちろん、そうでなければいいのですが。（吉田铸造）